

1 つぎの文章を読んで問題に答えましょう。

公園で聞こえる音は、場所やまわりのようすで大きく変わります。たとえば、ブランコの近くでは「かたかた」という音がはっきり聞こえます。音は物がふるえてうまれ、空気の中をつたわって耳にとどきます。近い音は、耳まで来る時間がみじかく、強く感じます。遠い音は、空気の中で力がへっていくので、小さくなります。

木やベンチのそばでは、音が物にぶつかってはねかえります。はねかえった音と元の音がいっしょに耳に入ると、少しひびいて聞こえます。トンネルの中で声がひびくのも、このはたらきと同じです。池の水の近くでは、音が水や地面で反射して、いつもよりひろくひろがるがあります。

風も大切です。風がよい日は、声や鳥のなきごえがますますとどきやすくなります。風がつよい日は、空気のながれに音がまざり、道のりが曲がってしまうことがあります。はっきりしません。気温も関係します。朝や夕方のすずしい時間は、まわりがしずかで、音のちがいに気づきやすくなります。昼のあたたかい時間は人が多く、足音や話し声、車の音がまざって聞きとりにくくなるがあります。

聞きくらべのしかたにも工夫があります。まず、立つ場所をかえて、同じ音を近くと遠くで聞いてみましょう。次に、木のそば、広場のまん中、池のふちなど、場所を三つえらんで、耳をすませてみます。手のひらを耳のうしろにそえると、音があつまり、少し大きく感じます。さいごに、メモに「どこで」「どんな音が」「どれくらいの大きさか」を書くと、ちがいがよくわかります。

このように、音は「近いか遠いか」「物にぶつかるか」「風や時間や気温のようす」によって、強さやひびき方が変わります。公園を歩くときは、耳をつかって小さな変化をたしかめてみましょう。



(1)

近い音と遠い音のちがいについて書いてある内容として正しいものを一つえらび、番号を○でかこみましょう。

- ① 遠い音のほうがつよく聞こえる。
- ② 近い音は耳までの時間がみじかく、強く感じる。
- ③ 近い音はかならず二つの向きから聞こえる。

(2)

風がつよい日に音が聞きとりにくくなるのはなぜですか。三十字以内で書きましょう。



(3)

この文章の「まとめ」としてふさわしい文を一つえらび、番号を○でかこみましょう。

- ① 公園では、どの場所でも同じように音が聞こえる。
- ② 音は、場所や物、風や時間によって聞こえる方が変わる。
- ③ 鳥の声だけは、いつでもいちばん強く聞ける。

(4)

本文では、場所や時間をかえて、じぶんの耳でたしかめることの大切さが書いてあります。この考えにいちばん合うことわざを一つえらび、番号を○でかこみましょう。

- ① 寝耳に水
- ② 石の上にも三年
- ③ 百聞は一見にしかず

1 つぎの文章を読んで問題に答えましょう。

公園で聞こえる音は、場所やまわりのようすで大きく変わります。たとえば、ブランコの近くでは「かたかた」という音がはっきり聞こえます。音は物がふるえてうまれ、空気の中をつたわって耳にとどきます。近い音は、耳まで来る時間がみじかく、強く感じます。遠い音は、空気の中で力がへっていくので、小さくなります。

木やベンチのそばでは、音が物にぶつかってはねかえります。はねかえった音と元の音がいっしょに耳に入ると、少しひびいて聞こえます。トンネルの中で声がひびくのも、このはたらきと同じです。池の水の近くでは、音が水や地面で反射して、いつもよりひろくひろがるがあります。

風も大切です。風がよい日は、声や鳥のなきごえがまっすぐときやしくなります。風がつよい日は、空気のながれに音がまざり、道のりが曲がってしまうことがあります。はっきりしません。気温も関係します。朝や夕方のすずしい時間は、まわりがしずかで、音のちがいに気づきやすくなります。昼のあたたかい時間は人が多く、足音や話し声、車の音がまざって聞きとりにくくなるがあります。

聞きくらべのしかたにも工夫があります。まず、立つ場所をかえて、同じ音を近くと遠くで聞いてみましょう。次に、木のそば、広場のまん中、池のふちなど、場所を三つえらんで、耳をすませてみます。手のひらを耳のうしろにそえると、音があつまり、少し大きく感じます。さいごに、メモに「どこで」「どんな音が」「どれくらいの大きさか」を書くと、ちがいがよくわかります。

このように、音は「近いか遠いか」「物にぶつかるか」「風や時間や気温のようす」によって、強さやひびき方が変わります。公園を歩くときは、耳をつかって小さな変化をたしかめてみましょう。



(1)

近い音と遠い音のちがいについて書いてある内容として正しいものを一つえらび、番号を○でかこみましょう。

- ① 遠い音のほうがつよく聞こえる。
- ② 近い音は耳までの時間がみじかく、強く感じる。

③ 近い音はかならず二つの向きから聞こえる。

(2)

風がつよい日に音が聞きとりにくくなるのはなぜですか。三十字以内で書きましょう。

空気のながれに音がまざり、道のりが曲がってしまうから。

(3)

この文章の「まとめ」としてふさわしい文を一つえらび、番号を○でかこみましょう。

- ① 公園では、どの場所でも同じように音が聞こえる。
- ② 音は、場所や物、風や時間によって聞こえ方が変わる。
- ③ 鳥の声だけは、いつでもいちばん強く聞ける。

(4)

本文では、場所や時間をかえて、じぶんの耳でたしかめることの大切さが書いてあります。この考えにいちばん合うことわざを一つえらび、番号を○でかこみましょう。

- ① 寝耳に水
- ② 石の上にも三年
- ③ 百聞は一見にしかず